

畜産物



滋賀県 大吉商店(株)・大吉畜産(株)・大吉牧場 『近江牛をアジアへ、そしてアメリカ・EUへ』

【主な品目】

牛肉(近江牛)

【主な輸出先国・地域】

シンガポール、香港、タイ、フィリピン、ベトナム、台湾、オーストラリア、マレーシア、ドバイ

【輸出取組の概要】

- ◆ 海外百貨店での販売促進フェアとレストランフェアに参加して近江牛をPR
- ◆ 海外での部分肉処理技術の指導により、ロース、ヒレ以外の部位への輸出需要が生まれた
- ◆ アジアを中心に9か国の輸出を継続、今後はアメリカ・EUを視野に入れていきたい

【輸出実績】 平成21年度より輸出開始

【出荷時期】 7～8月

【効果があった取組】

出展した商談会で出会ったバイヤーとコンタクトして現地で商談を進めた結果、商談の成約につながった。

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 海外における近江牛の知名度の不足。
- ・ 海外のブッチャー(食肉を切り分ける職人)に近江牛の部分肉処理を行う技術がなかった。
- ・ 現地での和牛を活かした料理メニューの開拓。

【生じた課題への対応】

- ・ 日本畜産物輸出促進協議会が実施する海外和牛フェアに参加してオールジャパンとしてPRするとともに、平成27年3月の第7回日本・ニュージーランド会議に参画し、和牛に関する講演や情報発信を実施。
- ・ 海外フェアの場においてブッチャーに部分肉の処理を指導するとともに、海外のブッチャーを招聘し研修の場を設け、牛肉の各部位の処理、調理方法等の技術指導を実施。
- ・ メニューDVDの配付、Youtubeでの配信を検討中

【対応の結果】

- ・ 商談が成約となり、シンガポールへの定期便と香港、タイ、ベトナム、フィリピンへの不定期便で輸出が行われるようになった。
- ・ これまでのロース、ヒレに偏った輸出から新たな調理方法を提案したことにより、焼肉や牛丼等に使う肩ロース、モモ、バラの輸出需要が生まれた。

【今後の課題・展望】

- ・ 更なる調理方法の提案を進めることにより恒常的なフルセットでの輸出の実現。
- ・ 生産者とレストランとの相互連携

【活用した支援・施策】 日本畜産物輸出促進協議会(和牛フェア等)

【ウェブサイト】 <http://www.1129.co.jp/>

【連絡先】 担当者名: 代表取締役社長 永谷武久、TEL: 0740-32-0001



催事風景(シンガポール)



催事風景(タイ)



催事風景(ベトナム)



牛肉のカット方法を指導